



日本とアジアが溶け合った空間で、ちょっぴり異国情緒が楽しめます



ピックアップ

寛永(1624~1645年)の頃から柏崎で作られた「大久保焼」。昭和の初めに廃窯になって以来、もう焼かれることがなくなった貴重な作品を、藍染の屏風とともに展示しています。



入館料 おとな…500円(450円)
小・中学生…300円(200円)
※()内は団体20名以上
※柏崎コレクションピレージ3館セット入館券も
ございます。

開館時間 9:30~17:00

休館日 毎週水曜日
冬期休館(12月中旬~3月上旬)



藍民芸館

柏崎市大字青海川181 Tel.0257-21-1199

柏崎コレクションピレージ



※柏崎市ホームページからも
検索できます。

柏崎の寺に生まれた松田政秀(一九〇七~一九八一年)が昭和の初め、民芸運動の祖・柳宗悦の思想に共感して収集を始めた「無名の職人の手による美しい民芸品」の数々が、ここ「藍民芸館」に展示されています。

藍染めをベースにした作品から、アジアの民芸品、陶磁器、そして普段使いの食器まで、そのひとつひとつに「作り手の思い」を感じることが出来ます。

今はもう見かけなくなった「幻灯」も、魅力的です。



民芸の美しさ 藍民芸館

あいみんげいかん

名もなき職人たちが、「芸術作品」ではなく「民芸品」として作ったって：ホント？

Model : CHINATSU

Photograph : NIWAYAMA NORIAKI



職人さんの技と感性が伝わる藍染めが展示されている「木綿の蔵」。迫力ありすぎです！



美しい藍染も、昔は日常品でした



丁寧に装飾されたかわいいガラスの器たち



それぞれ絵柄が楽しい蕎麦猪口のコレクション



藍染のグッズや骨董品が並んでいるミュージアムショップ



アジアンティストの美術品が館内いたるところに…



幻灯が自動投影されているコーナー。絵や写真を焼き付けたガラス板に、思わず見とれちゃいます



暮らしの中の道具や、中国やアジアの装飾品を鑑賞できる「陶磁の蔵」

周辺スポット

藍民芸館から車で約5分



恋人岬

日本海フィッシャーマンズクープの恋人岬は、カモメが空を舞い、青く透んだ空と日本海に囲まれた断崖の岬です。佐渡弥彦米山国定公園のなかでも、福浦海岸を一望できる景勝地で、晴れた日には遠く佐渡を望み夕日のスポットとしても知られています。ここに設置されている柵にふたりでカギをつけると将来、幸せにむすばれるといわれている恋愛成就のスポットです。

柏崎市青海川1133-1
(日本海フィッシャーマンズクープ) Pあり

柏崎 恋人岬

